

会議録

- 議事内容 2025年度12月定例教育委員会
- 日時 令和7年12月16日(火) 13:30～15:30
- 場所 4階会議室4-1
- 出席者 教育長 小西 博泰
教育委員 藤本真理・石原友紀・酒井秀彦・加納昌樹
事務局 入江教育管理部長・藤井教育指導部長
松田教育総務課長・市橋いきいき社会創造課長
福西スポーツ振興課長・教育総務課 小畑

■ [会議の内容]

- 1 開会あいさつ
・教育長

- 2 前回議事録確認

■ 【教育委員からの照会及び意見】

Q：4ページの15行目、「各学校の発表を見ることができる機会を作り」の「発表」が、前述の例として挙げた「人権発表」だけを指しているように見えるため、「脱スマホルール」に変更していただきたい。(教育委員)

A：「各学校の発表を見ることができる機会を作り」を、「各学校の脱スマホルールを知ることができる機会を作り」に変更する。(教育長)

(全委員一致で承認)

3 報告事項

- ・令和7年度主要事業の進捗状況の説明及び教育委員からの意見聴取

■ [学校教育課関連]

① 「夢と希望の教育」の充実と深化【教育課程管理】

(進捗状況)

- ・11月28日、幼保小の円滑な接続推進事業として、東播磨地区と淡路地区の合同研究大会を開催した。小野東幼稚園では、日々の実践と保育を発表し、非常に高い評価を得た。エクラでは、兵庫教育大学の飯野准教授に講演いただいた。講演内容についても、「小学校と幼稚園の指導の違い等がはっきりと理解でき、非常に参考になった」と好評であった。

(今後の予定)

- ・「おの幼稚園」開園に向けた準備、小野東幼稚園の園舎とのお別れ行事について、進める。

- ・インフルエンザ等による学級閉鎖・学校閉鎖で休校が重なったため、教育課程の進捗状況（2学期末時点）について確認するよう、各学校に指示した。

②「チーム学校」を踏まえた学校組織マネジメントの強化とリスクマネジメント【危機管理】

（進捗状況）

- ・いじめ、問題行動等における組織的対応について、校長会で研修を実施した。
- ・東播磨道及び松沢バイパス開通に伴い、交通量が増加している。該当の市場小学校区、下東条小学校区の交通安全について再確認を指示した。

③人材育成と働き方改革【人的管理】

（進捗状況）

- ・令和8年から令和13年の5年間で、小学校の学級数が約10学級減少し、それに伴い教職員定数も約15名減少することが想定される。その状況を踏まえ、令和8年度の人事異動及び人員確保について、調整及び準備を進めている。
- ・教職員の超過勤務時間については、見える化し、繰り返し周知したことにより減少している。引き続き、超過勤務時間数の数管理を徹底していく。

④学校教育課情報

1 市の取組

- 12月8日 連合北播 豊かな教育の創造を目指す北播地区会議
- 12月9日・12日 到達度テスト
- 令和8年1月8日 人権教育研究大会（旭丘中）

2 学校の取組

- 12月18日 自主研究発表会（小野特）

3 学校の状況等

- 12月 4号報告4件（累計：33件）
- 12月の不登校の状況（ ）内は前年数値
小学校12名（21名）、中学校78名（79名） 合計90名（100名）

4号報告については、全て軽微な案件であるが、同じ児童生徒による案件があり、継続した指導が必要だと考えている。

不登校については、昨年度より減少傾向である。中学校で、若干増加しているため、引き続き取組を進める。

冬休み中も、教育サポートセンター及び校内サポートルームを開け、不登校の児童生徒のサポートをする。

■【説明事項に対する教育委員からの照会及び意見】

Q：東播磨道及び松沢バイパス開通に伴う危険箇所について、現時点では挙がってきていないのか。（教育委員）

A：昨日、市場小学校から、東播磨道開通に伴う通学路の改善要望の提出があった。池尻ランプから下りてくる道路が、育ヶ丘の子どもたちの通学路と交差する箇所があり、一旦停止しない車が多いため、「通学路あり。スピード落とせ」等の注意喚起の看板を立ててほしいという要望であった。道路河川課等と連携し、対策を講じる予定である。（事務局）

A：開通に伴い、それに波及する車の流れが、今までとは変化するため、思わぬ場所で危険箇所が発生する場合もある。学校だけでなく、PTAや地域のスクールガードとも連携し、情報収集する必要がある。（事務局）

Q：松沢バイパスについては、バス通学の地域のため、直接的な危険性はないように思うが、曾根町の子どもたちが渡る道路が、加東市の社へ抜ける道のため、車の流れに寄っては注意が必要である。現在、調査員が交通量調査をされているようである。（教育委員）

A：交通量調査については、1年間の調査を経ないと、結果は出てこないため、今年度中には答えは出ないかもしれない。松沢バイパス及び東播磨道は、どちらも県道のため、市の道路河川課を通じて、県に交通量調査の開示を求めることも必要かもしれない。（事務局）

A：松沢バイパスにおいては、道路が直線になり通りやすくなったため、スピードアップする車もあるうえに、交通量も増えている。学校としては、最低でも通学路の再確認は必要である。事故が起きてからでは遅いため、再度、リスクマネジメントの徹底を各学校に周知する。（事務局）

Q：小野東幼稚園に伺った際、幼保小の合同研究大会で大勢の方が来園されると聞いた。また、その方々の前で発表する内容も少し教えていただいた。合同研究大会には、何名参加されたのか。（教育委員）

A：約150名参加され、熱心に発表を見ていただいた。小野警察署に行き、実際に見てきたパトカーを段ボール等で制作している子どもたちの様子を見て、その発想力や主体性を評価していただいた。保育園の先生方もたくさん参加されていたため、新幼稚園のPRだけでなく、これからの幼児教育について提案するきっかけにもなるのではないかと考える。（教育長）

■【教育総務課関連】

①おの幼稚園整備事業

（進捗状況）

- ・新幼稚園整備工事の進捗率は、93%で工程どおり進んでいる。

工事内容：内装工事（網戸・カーテン取付）、外構工事（遊具、園庭芝生）、
駐車場新設工事

・11月27日、園歌の作曲を依頼している平田あゆみ氏に、現地確認していただいた。年内には、園歌が完成する予定である。

・新幼稚園教材備品購入

11月28日入札落札 3,003,000円 株式会社兵庫教育産業

・移転業務委託

11月28日入札落札 1,100,000円 株式会社佐川急便

(今後の予定)

・竣工式 令和8年2月 2日(月) 午前

・内覧会 令和8年2月 2日(月) 午後、2月 7日(土) 午前

・開園式 令和8年4月10日(金) 午前

②学校施設長寿命化対策事業

●旭丘中学校

(進捗状況)

・体育館建替工事の進捗率は、12%で工程どおり進んでいる。

工事内容：基礎掘削、配筋・型枠工事

●河合中学校

(進捗状況)

・校舎長寿命化工事設計業務委託の進捗率は、63%で順調に進んでいる。

内容：11月18日 家具の打合せ、12月1日 イメージパース打合せ

・11月29日に河合小学校運営協議会、12月5日に河合中学校運営協議会へ基本設計及び仮設校舎の概要等の説明を行った。

(課題)

・仮設校舎賃貸借費用の高騰、入札不調に備えたスケジュール調整

③学校体育館空調設備整備事業

(工事スケジュール)

| | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 |
|------|-----|-----|----|----|----|----|
| 特別支援 | → | | | | | |
| 小野小 | → | | | | | |
| 大部小 | → | | | | | |

| | | | | | |
|------|---|--|--|--|--|
| 河合小 | → | | | | |
| 来住小 | → | | | | |
| 市場小 | → | | | | |
| 小野東小 | → | | | | |
| 中番小 | → | | | | |
| 下東条小 | → | | | | |

(進捗状況)

- ・学校体育館空調整備工事設計・工事監理業務委託（その1）の進捗率は、80%
学校体育館空調整備工事設計・工事監理業務委託（その2）の進捗率は、66%
で順調に進んでいる。

- ・学校体育館空調整備工事

8月7日入札落札 令和7年8月12日～令和8年1月30日

小野特別支援学校 三輪設備 26,125,000円

8月19日入札落札 令和7年8月22日～令和8年2月27日

小野小・大部小 株式会社竹内工業所 52,327,000円

→小野小：12月終業式にて試運転（暖房）

8月29日入札落札 令和7年9月2日～令和8年2月6日

河合小 小林設備工業有限会社 24,585,000円

9月4日入札落札 令和7年9月8日～令和8年3月8日

来住小・市場小 三輪設備 39,820,000円

11月10日入札落札 令和7年11月13日～令和8年3月23日

小野東小 ナカムラ電設株式会社 27,390,000円

11月17日入札落札 令和7年11月20日～令和8年3月31日

中番小・下東条小 小林設備工業有限会社 50,237,000円

④GIGAスクール端末更新事業（GIGAスクール構想第2期「NEXT GIGA」）

(進捗状況)

- ・5月 第1回教育の情報化推進協議会
- ・6月 第1回OS別意見交換会（スケジュール）
- ・7月 第2回OS別意見交換会（仕様書検討、意向確認）

- ・ 8月 第2回教育の情報化推進協議会（端末紹介）
- ・ 10月 第3回OS別意見交換会（仕様書・共同調達意向確認）

（今後の予定）

- ・ 12月19日 プロポーザル審査会（業者決定）
- ・ 令和8年1月 決定業者と契約
- ・ 令和8年3月 3月議会上程・本契約
- ・ 令和8年8月 納品・更新

⑤教育総務課情報

1 学校施設工事関係

○小野東小学校空調更新工事設計業務委託

6月9日入札落札 6,380,000円

宮永建築設計事務所 令和7年6月12日～令和8年3月19日

→6月20日：学校・市・設計業者打合せ、現地調査

9月30日：概算費用

○来住小・下東条小学校照明LED化工事設計業務委託

6月9日入札落札 5,720,000円

株式会社工藤建築環境設計室 令和7年7月2日～令和8年3月31日

→7月17日：学校・市・設計業者打合せ、現地調査

9月4日：基本設計打合せ

9月30日：概算費用

2 学校ICT関係

平成28年度に構築した教育系クラウドサービスイントラネットについて、構築から8年が経過し、クラウドサーバー利用料等が高騰してきたことから、ゼロベースでクラウドサービスの見直しを行い、新たなイントラネットを構築する。

○小野市教育系クラウド再構築業務委託

11月7日入札落札 14,630,000円

株式会社ケーオウエイ 北近畿営業所

構築期限：令和8年2月28日

保守期間：令和8年3月1日～令和13年3月31日（5年間）

■【説明事項に対する教育委員からの照会及び意見】

Q：河合中学校のパスは、いつ公開できるのか。（教育長）

A：新年交歓会で、公開する予定である。（事務局）

Q：新幼稚園の内覧会は、どのように募集するのか。予約も必要か。(教育委員)

A：広報とホームページで、市民に周知する予定である。内覧会は、募集や予約ではなく、自由参加にしている。(事務局)

Q：新幼稚園の内覧会では、説明要員はいるのか。(事務局)

A：いない。参加者には、自由に見て回っていただく予定にしている。(事務局)

Q：新幼稚園の内覧会では、教材等も見ることにはできるのか。(教育委員)

A：備品や教材等が入る前なので、建物のみ内覧である。(事務局)

■ [いきいき社会創造課関連]

① 2026小野市成人式

開催日：令和8年1月12日(月・祝)

場 所：うるおい交流館エクラ

(進捗状況)

- ・社会貢献活動として、11月23日開催の「ONO健康・福祉フェア」に実行委員3名、12月7日開催の「小野ハーフマラソン」に、完走証発行担当として、実行委員7名が参加した。
- ・現在の申込人数：240人(対象者525人)
※例年は、対象者の7割の申込。成人式直前の申込が多い。

②小野市民文化賞表彰

(進捗状況)

- ・11月25日、市民文化賞受賞者と推薦者へ結果通知を送付している。

(今後の予定)

- ・令和8年2月14日 小野市市民文化賞表彰式・小野市スポーツ賞表彰式

③いきいき社会創造課情報

○第37回上田三四二記念「短歌フォーラム」

日 時：令和8年5月9日(土)

全投稿数：6, 998首(小中高生の部：6, 233首)

○図書館 クリスマス展示

期 間：12月1日(月)～12月25日(木)

内 容：カウンター前に「クリスマスにおすすめの本」と「みんなでツリーを飾るコーナー」を設置。また、クリスマスの絵本を2冊セットにした「クリスマス絵本パック」の貸出

○図書館 中学生読書新聞展示

期 間：12月8日（月）～令和8年1月12日（月）

内 容：市内の中学生が作った読書新聞約100点をエントランスホールに展示

○好古館 市指定文化財公開事業「奥田家特別公開」

日 時：11月23日（日）10時00分～15時00分

場 所：奥田家住宅（中番町）

参加者：56人 ※事前申込制

○コミセンおの 「2025クリスマスコンサート」

日 時：11月30日（日）10時00分～16時00分

参加者：380人（来場者：300人、出演者：80人）

○コミセンいちば 「秋の小野ハミングウェイウオーキング」

日 時：11月22日（土）9時30分～13時00分

場 所：山田川沿いの2コース

参加者：262人（ウオーキング：131人、スタッフ：131人）

○コミセンいちば 「コミセンいちばの昼食会」

日 時：11月26日（水）11時30分～13時00分

参加者：56人（高齢者：17人、スタッフ：39人）

○コミセン下東条 「第53回下東条地区体育祭（多世代交流玉入れ大会）」

日 時：11月16日（日）9時00分～11時00分

場 所：市民研修センター 運動場

参加者：300人（小学生：100人、高齢者：50人、スタッフ：50人）

④行事一覧 ※既に終了した事業を含む（別紙詳細）

■【説明事項に対する教育委員からの照会及び意見】

Q：コミセンおの「クリスマスコンサート」では、小野中学校の吹奏楽部が、昭和時代の懐かしい曲をクリスマス仕様で演奏しており、とても楽しく盛り上がった。また、12月14日、エクラで開催された「ハートフルシティコンサート」の午前の部では、小野南中学校・河合中学校・小野高校・小野吹奏楽団の合同楽団の演奏、午後の部では、小野中学校・旭丘中学校・小野工業高校・小野吹奏楽団の合同楽団の演奏で、非常に盛り上がった。高校生や社会人の方々との合同演奏で刺激を受けていることもあり、子どもたちの演奏のレベルが高いことに感動した。また、小学校の合唱も含め、全体的に音楽のレベルが上がっていることを実感し

た。(教育委員)

Q：来住小学校の1・2年生のドレミの歌も、映画の「サウンド・オブ・ミュージック」仕立てになっており、クオリティの高さに驚くと同時に感動した。(教育委員)

Q：大部小学校では、食べ物や挨拶の仕方等、文化について、インドネシアとリモート交流を行っている。そのため、大部小学校の児童は、抵抗なく外国人に英語で挨拶ができる。この国際交流の授業は、子どもたちにとって、楽しい授業であり、生きた授業になっているのではないかと考えている。(教育委員)

A：せっかく小野市に文化の火が灯っているのに、部活動の地域移行等で、その火を消すようなことはしたくない。また、その火を灯し続けるために、子どもたちの成果を披露する場を設けてやりたいとも思う。今後、様々な部や課とも連携し、柔軟な発想で子どもたちを支えていきたいと考えている。(教育長)

A：レベルが上がると、新たな課題も出てきている。オーディションで楽器を決める際、希望が叶わなかった子どもだけでなく、その保護者までもが想像以上に落ち込んでしまうこともある。また、それが学校の指導に対する不信感につながりかねない。レベルが上がるにつれ、家での練習が必要になり、YouTube等の動画を見て練習するようになる。端末を持ち帰っても、YouTubeを見ることができないため、YouTubeを見ることができるよう設定してほしいという要望も一部の学校から挙がっている。そういった新たな課題についても考えていかなければならない。(事務局)

■〔スポーツ振興課関連〕

①学校保健体育事業の推進

(進捗状況)

- ・12月、第1回目の「なわとび検定」を各小学校で実施し、集計を行っている。

(今後の予定)

- ・令和8年1月19日～23日、2回目の「ひまわりカード」による朝食摂取率調査を実施する。
- ・3月上旬、第2回目の「なわとび検定」を実施する。

②第12回小野ハーフマラソン2025

(参加者数)

| | 申込者数 | 参加者数 | 完走者数 | 完走率 |
|--------|-------|-------|-------|-------|
| ハーフ 男子 | 3,488 | 3,142 | 3,073 | 97.8% |
| ハーフ 女子 | 1,092 | 977 | 943 | 96.5% |
| 5km 男子 | 413 | 358 | 358 | 100% |
| 5km 女子 | 374 | 332 | 332 | 100% |

| | | | | |
|-------------------|-------|-------|-------|-------|
| 1. 5 km 小学4～6年 | 219 | 189 | 189 | 100% |
| 1. 5 km 小学1～3年 | 231 | 203 | 203 | 100% |
| 合計 | 5,817 | 5,201 | 5,098 | 98.0% |

※入賞者は、別紙詳細

- ・ハーフマラソンでは、軽い脱水症状で1名、低血圧で1名、合計2名が救急搬送されたが、どちらも軽症で無事に帰宅された。

(今後の予定)

- ・3月上旬、第3回実行委員会を開催し、反省点や改善点等を協議する。

③スポーツ振興課情報

1 学校保健体育

○第2回ひまわりカード朝食摂取率調査

期 間：令和8年1月19日（月）～1月23日（金）

対 象：市内保育所（園）の4・5歳児、幼稚園

小・中・特別支援学校の児童生徒

内 容：「ひまわりカード」を活用した朝食摂取率調査の実施

2 社会体育

○第28回小野フレンドリーカップ（綱引き大会）

日 時：令和8年1月25日（日）9時00分～13時00分

場 所：総合体育館アルゴ

主 催：小野フレンドリーカップ実行委員会、小野市教育委員会

3 今後の予定

○令和7年度 小野市スポーツ賞表彰式

日 時：令和8年2月14日（土）14時00分～

場 所：うるおい交流館エクラ

その他：今年度から小野市民文化賞と同時開催

■【説明事項に対する教育委員からの照会及び意見】

Q：ハーフマラソンに前日から宿泊して参加される方は、何人くらいいるのか。（教育委員）

A：把握していない。ホテルルートイン小野からは、前年大会後に予約されている方が多く、今年も満室状態と聞いている。有馬温泉に宿泊されて、参加している方

もいると聞いている。(事務局)

Q : ハーフマラソンを実際に走って感じたことであるが、他市の大会と比較すると、とてもアットホームな大会であった。ボランティアの方も慣れている様子で、非常に元気で丁寧な対応であった。(教育委員)

A : ボランティアの中には、何年も続けて来ていただいている方もいる。アルゴのボランティアの方々は、自分たちも楽しもうという姿勢で臨まれており、自分たちのおもてなしで、ランナーの方に喜んでいただけることが楽しいとおっしゃっていた。(事務局)

A : 楽しみながらボランティアされている方と接していると、本当に盛り上がる。(教育委員)

Q : ハーフマラソンのゼッケンと一緒に白黒コピーの会場地図が送られてきたが、要望があって入れているのか。白黒の地図なので、わかりにくい。ホームページ等でカラーの地図を見た方が、わかりやすいのではないか。(教育委員)

A : 過去の大会では、総合案内で会場地図を配布していたが、毎回、「案内図はないのか」という問合せが多かったため、ゼッケンと一緒に会場地図を送付するようになった。現在は、会場を熟知されているリピーターも多く、案内図に関する問合せも減っている。しかし、初めて参加される方からは、わかりにくいという意見が多いため、現在も会場地図を送付している。(事務局)

A : 過去の大会の反省も踏まえて、ゼッケンと一緒に会場地図を送付している。会場地図は、総合案内に掲示する案内看板をベースに作成する。今回、ゼッケンの送付期日までに、会場地図のカラー印刷が間に合わなかったため、白黒コピーになってしまった。いただいた意見は、実行委員会で検討し、次回大会に反映させたい。(事務局)

Q : 他市の大会の受付開始は、時間どおりのため、30分以上前から長蛇の列ができる。しかし、小野ハーフマラソンでは、受付開始は7時10分からであったが、その時間より前でも、受付をしてくれた。ランナーにとっては、非常に有難かった。(教育委員)

A : 大きな混雑や混乱を避けるため、受付開始時間前でも列ができていれば、臨機応変に対応するよう事前に打合せをしていた。そういった臨機応変な対応を心がけていても、小さなトラブルは起きる。今回、エクラにおいて、スタート前の集中的なトイレの使用により、貯水槽の水が無くなり、一時的に湯水寸前の状態になった。(事務局)

Q : ハーフマラソンで走っている際、下東条小学校付近のトイレを利用した。そこでは、近くの店の方が、ご厚意で店のトイレを開放されており、トイレの混雑緩和に協力されていた。また、ひまわりの丘公園から下りたところの給水所では、ラ

ンナーが入れやすいよう、ゴミ箱を斜めに傾けてくれていた。様々な場所で気配りを感じる大会であった。(教育委員)

A：貴重な意見をありがとうございます。実際に走った方の生の声を聞くことは、大事である。いただいた意見は、実行委員会で検討し、次回の大会に反映させていきたい。(教育長)

4 その他

○今後の協議事項について

令和7年を振り返り、教育委員の活動の範囲内だけでなく、教育・学校・地域等において、気がかりなことや話し合いたいこと等、意見を伺う。

■【教育委員からの照会及び意見】

Q：学校運営協議会で、夏季の奉仕作業において、掃除や草刈りを地域の方に手伝っていただけないかという意見が出ていた。学校の大きさは変わらないが、子どもの数は年々減少しているため、保護者の協力だけでは、学校の運営も難しくなっている。これからは、保護者だけでなく、地域の知恵や力も活用し、学校を運営していく必要があると実感した。

先日開催された来住小学校のマラソン大会では、地域のお店が主体となり、保護者と学校の先生が協力し、青少年健全育成会の協力を得て、子どもたちにぜんざいを振舞っていた。大変なことも多いが、保護者・地域・学校が協力し合う姿は、素晴らしいと感じた。(教育委員)

A：今の話を初めて聞いて安心する反面、そんな素晴らしい報告が学校から挙がってきていないことを残念に思っている。報告があれば、情報共有することもでき、教育委員会としても力になることができる。もしかすると、情報共有することで、他地域にも広がっていくかもしれない。それが小野市の力であり、コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の目指すところである。これからの管理職には、もっと学校のマネジメント力を持ってほしいと考えている。(教育長)

Q：以前、「報連相(ほうれんそう)」での情報共有は、「こんな小さなことまで挙げるのか」と驚くこともあったと聞いている。当然、マラソン大会のぜんざい振舞いについても、挙がっているものと思っていた。「報連相(ほうれんそう)」は、少なくなっているのか。(教育委員)

A：「報連相(ほうれんそう)」は、以前と変わらず挙がってきている。しかし、ぜんざい振舞いの報告については、学校から挙がってきていない。最近の傾向として、「報連相(ほうれんそう)」を挙げるスピードが低下しており、内容から学校の意図が読み取りにくいものが多い。(事務局)

A：情報の良し悪しに関わらず、できる限りリアルタイムで情報共有し、情報の一元化と水平展開ができるよう努めたい。(教育長)

A：学校運営協議会は、学校の課題を地域と一緒に考え、地域に学校運営に携わっていただき、学校運営の方向を協力して決めていく位置づけになっている。また、校長会でも「子どもたちの自尊感情を高めるには、学校や先生の褒め言葉に加え、地域の活動に参加することが、大きな効果を生む」と周知しており、学校運営協議会は、それを実現するための第一歩だと思っている。しかし、学校運営協議会の「報連相（ほうれんそう）」だけに限ると、そういう意図を踏まえ、学校が地域と一緒に形を作っていくような動きが見当たらない内容が多いため、改善を呼びかけているところである。また、学校の要望ばかりでなく、学校も地域に貢献しないといけない。学校と地域、お互いにとって良い関係ができるような取組について、学校運営協議会でもっと話し合ってもらいたい。（事務局）

Q：コロナ前とコロナ後で、小学校の学校行事がどういう傾向で減少しているのかが気になっている。例えば、地域の高齢者が子どもたちに昔遊びや文化を教える「クラブ活動」、地域の職業や文化を学ぶ「町探検」「職場見学」等は、残っているのか。（教育委員）

A：「職場見学」については、生活科のカリキュラムに入っているため、残っている。コロナ前においては、行事が飽和状態であったため、業務改善として、行事を取り止めたり、効果的な行事内容に変更したりしないといけなかったが、なかなか実行できなかった。しかし、コロナ禍で、ほとんどの行事を取り止めざるを得なくなった。コロナ後においては、教員の働き方に問題があるという風潮も重なり、現在もコロナ禍と同程度という学校もあれば、取り止めた行事を復活させている学校もある。全校的には、教員の働き方改革が前面に出ているため、縮小傾向にある。また、教員の働き方改革に係る業務改善と行事の効率化を掲げると、どうしても行事が同じパターンになってしまう傾向がある。例えば、小学3年生で行う「環境体験」では、ほとんどの学校が、地域の畑を借りて大豆を作り、その大豆で豆腐を作る。これでは、地域性が置き去りになってしまい、地域に根差したもので、地域の環境を考えるという「環境体験」の趣旨から外れてしまう。こういったことに関しても、学校運営協議会の場を利用して、地域の知恵や力を活用すべきだと考えている。（事務局）

Q：先日、コミセンおおべのイベント「やさしさをみんなに届けるメッセージ」で、地区代表区長として、最優秀賞と大部地区地域づくり協議会および大部地区ヒューマンライフ協議会会長賞の表彰状を渡すために、旭丘中学校と大部小学校へ行って来た。今年もたくさんのメッセージが届いており、「おいしいお米を作ってくれてありがとう」「近所のおじいちゃん、毎朝、横断歩道のところに立ってくれてありがとう」等といった感謝の言葉が多かった。どれも心温まる作品で、それに順位をつけることは難しかった。しかし、賞をとることが、子どもたちの励みにもなるうえに、作品を見て地域の方々にも喜んでいただけるため、とて

も良いイベントだと思っている。他にも大部地区においては、「おおべのショー」や「桜つつみウオーク」等、地域と一体になったイベントがある。運営していくのはとても大変だが、こういったイベントは、伝統的に続けていきたい。(教育委員)

A : メッセージを届ける方にも届けられる方にとっても、とても良いイベントだと思う。ぜひ続けていただきたい。(教育長)

Q : 学校評議員であった時は、1つの学校だけを見ていたが、教育委員になり、小野市内全ての学校を見ることができた。行事に関しては、児童生徒数が多い学校より、少ない学校の方が、PTAや地域の方々の積極的な協力や参加が多いように感じた。(教育委員)

A : 児童生徒が少ない学校は、教員数も少なく、PTAや地域の方々の協力が不可欠な場合もあるが、地域性もあることは確かである。しかし、小学校の「環境体験」だけでなく、中学校の「トライやる・ウィーク」も、地域の職場体験や福祉体験を通じて、思春期の多感な子どもたちを、学校・家庭・地域が連携して育てることを目指しているものであり、地域を置き去りにしての学校運営は成り立たない。コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)は、始まったばかりでまだまだ課題は多いが、保護者や地域と連携し、子どもたちの成長を支える取組を進めていかなければならないと考える。(教育長)

Q : 教員の業務量に偏りがあるように感じる。一定の教員のみ残業時間が多い等といったことはないか。学校長が業務量をコントロールできないのか。(教育委員)

A : 市役所や企業等と同様、校務分掌にも軽重はある。そのため、難解な仕事を担当する教員に限られ、その仕事量によっては、超過勤務時間が増える可能性もある。しかし、以前に比べると改善されている。(事務局)

5 次回定例教育委員会予定

令和8年1月20日(火) 13時30分～ 4階会議室4-1

令和8年2月18日(水) 13時30分～ 4階会議室4-1

6 閉会あいさつ 教育長